

「見守りネットふくおか」について

見守りネットふくおかとは

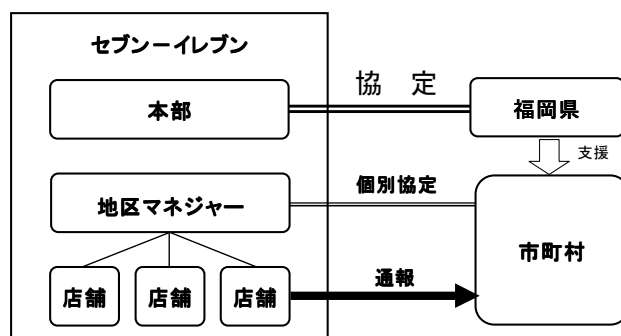
ひとり暮らしの高齢者等が安心して生活するためには、地域における見守り活動が重要です。この見守り活動は、複数の人に協力してもらい複数の網（ネット）をかけることで、より効果的なものとなります。

福岡県では、各家庭を訪問する機会の多い事業者の皆さんが、ひとり暮らしの高齢者等の異変を察知した時に市町村へ通報する活動「見守りネットふくおか」に取り組んでいます。

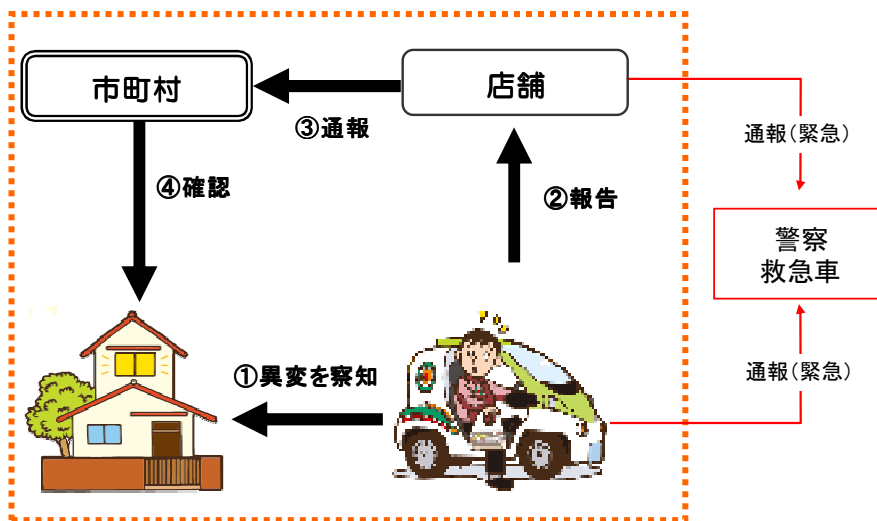
協定の締結について

平成25年11月15日、(株)セブン-イレブン・ジャパンと福岡県との間で「見守りネットふくおか」の協定が締結されます。

この協定を受け、見守りを行う各店舗と通報先である市町村との個別協定（自治体によっては、覚書や協力要請という場合もあります。）が締結されます。福岡県は、個別協定の締結が円滑に進むよう、「双方の協議窓口のとりまとめ」や「協定ひな形の提示」等の支援を行います。



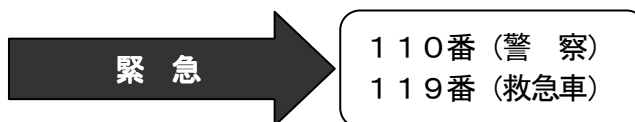
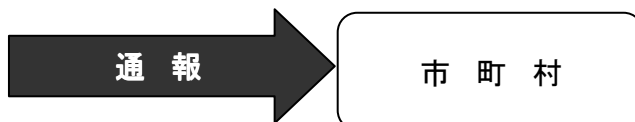
見守りネットふくおかのしくみ



見守りネットふくおかの範囲

異変を察知した時の通報先

- ・いつもと違い、何か気になる…。
- ・新聞がたまっている。独居高齢者だし、安否を確認してほしい。
- ・人が倒れている！
- ・高齢者が徘徊している！
- ・異臭がして、明らかに様子が変！



店舗の皆さんの役割

日常業務の中で、顧客等に関して何らかの異変を察知した場合に市町村へ通報します。

(1) 異変を察知するポイント

屋外から確認できる次のようなサインに気を付けて見守ります。

- ・新聞や郵便物が何日もたまっている
- ・電灯が昼夜ついたままになっている
- ・何日も洗濯物が干したままになっている など

(2) 通報は店舗の判断で

異変を察知した配達担当者は、店長等に報告します。店長等は、日常的に把握している顧客の状況などから通報が必要かどうかを判断し、市町村の窓口へ通報します。

(※倒れている等の緊急時は、この限りではありません。直ちに110番又は119番通報します。)

- ・顧客から長期不在の連絡が入っている
- ・同居者の有無、高齢者の世帯
- ・旅行などで不在にすることが多い など

市町村の役割

通報を受けたら、速やかに確認し、対象者の状況に必要な応じた支援を行います。

(1) 安否確認の方法

安否確認は地域の実情に応じた方法で行います。

- ・市町村又は市町村社会福祉協議会の職員が訪問
- ・民生委員や自治会を通じて確認
- ・住民が事前に登録した「緊急連絡先」に確認 など

(2) 個人情報は提供しません

「見守り対象者名簿」などの個人情報を店舗へ提供することはありません。

※事前に店舗への取材が可能です。

日時： 11月14日(木)14:00～15:00

場所： セブン-イレブン福間海岸通り店

詳細は、(別紙4)のご取材案内をご確認ください。